

登録地域建造物資産



第149号

東暉荘

とうきそう

所在地	千種区向陽町一丁目
年代	昭和初期築
用途	住宅

初代の当主が名付けた「東輝荘」の由来は定かではないようですが、建物は大正期建設とのことで、初代そして2代目棟梁と親子2代に渡り管理されています。戦時中の三河地震、終戦後の米軍接收体験を経て大きな改修もなしに現存しています。室内に入ってまず床が大正期には珍しくバリアフリーとなっていることに驚かされました。畳と廊下板張りが同一面となっています。数寄屋風の室内造作もほとんど改修はされていないとのことです。繊細な欄間、障子そして2階の床には月見の丸窓等配した造りには心惹かれます。また、建物を挟んで南側には松と紅葉の庭(秋の紅葉は見事)、そして北側は常緑樹と灯籠を配した日本庭園があります。

